

北海道で震度7 道全域が停電、工場停止

(2018/9/7 05:00)

6日3時8分ごろ、北海道南西部の胆振（いぶり）地方を震源とする地震があり、厚真町で震度7の揺れを観測した。土砂崩れや家屋倒壊、交通インフラの寸断などに加え、道内の全戸で停電が発生する異常事態となった。企業活動も直撃され、停電による生産拠点の停止やサプライチェーンなどへも影響が及んだ。電力供給は一部再開されたが、世耕弘成経済産業相は、道全域の電力復旧に少なくとも1週間かかるとの見通しを示しており、産業界に与える影響の大きさが懸念される。

■ 物流網寸断 産業界を直撃

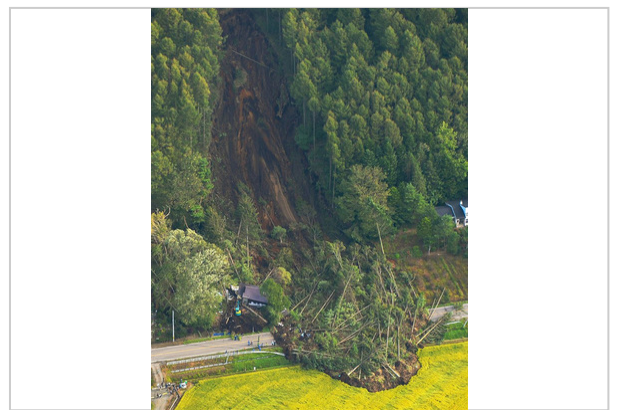
道全域で停電に見舞われた6日午前、生産拠点の稼働停止を決断した企業が相次いだ。

トヨタ自動車は変速機などを生産するトヨタ自動車北海道（苫小牧市）で、停電により6日朝からの1直目以降の稼働を停止した。デンソーも車載用半導体を生産するデンソー北海道（千歳市）を6日昼夜の稼働とも停止。アイシン精機はアルミ鋳造部品を手がけるアイシン北海道（苫小牧市）など、グループ3工場の稼働を停止した。

パナソニックも、千歳市にあるデバイスソリューション事業部の北海道工場と、帯広市にある子会社のパナソニックスイッチングテクノロジーズの工場が稼働を停止。いずれも電子部品工場で、建物の損壊はないという。

京セラは、携帯端末などを生産する北海道北見工場（北見市）と札幌営業所（札幌市中央区）を終日休業した。従業員や設備に被害はなかった。

住友電気工業は切削工具や超硬合金用材料を生産する子会社「北海道住電精密」（奈井江町）が稼働を停止したが、工場設備や従業員に被害はなかった。クボタは北海道支社（札幌市中央区）や農業機械販売子会社の北海道クボタ（同西区）で人的被害や建物への被害がないことを確認したが停電の影響を受けた。カネカも停電により、恵庭市にある生産子会社工場の操業を停止。地震による大きな物的、人的被害はないという。文化シャッターの千歳工場（千歳市）も停電に伴い稼働を停止した。



地震で発生した大規模な土砂崩れの現場（北海道厚真町上空＝時事通信チャーター機より）

他方、新日鉄住金の室蘭製鉄所（室蘭市）では、安全確認のためすべての設備をいったん停止し、高炉も送風を止めて炉内の温度を抑え、銑鉄の生産を休止する休風状態に切り替えた。設備の一部は外部電源の復旧を待つ必要があるが、それ以外の設備は



地震の影響で波打つ道路（6日＝北海道厚真町）

無事を確認し次第、自家発電で運転を順次再開しているという。製造設備に大きな被害は出ていないものの、出荷は港湾設備などの被災状況を見極めた上で行うとしている。

また、三菱製鋼傘下の三菱製鋼室蘭特殊鋼（同）が新日鉄住金室蘭製鉄所の敷地内に構える製鋼工場が6日未明に、連続鑄造設備の冷却装置が停電で止まり、過熱した潤滑油が発火する火災が発生する事態に見舞われた。同日午前消防が鎮火を確認しており、三菱製鋼によると周囲への燃え広がりもなかったという。

交通インフラも停電の影響を受け、JR北海道が北海道新幹線を含む全線で運転休止。新千歳空港は18時に電力が復旧、システムチェックを進めており、7日の早い段階で国内線が復旧する見通しだ。

(2018/9/7 05:00)